



あさの しげのぶ
浅野 修一 議員

子育て支援

保育所施設の改修で対応を 町全体の施設面で利用可能

問 佐賀、くじら保育所は、年齢によっては定員に達し、入所できない状況にある。施設の改修が必要と思うが対応は。また、待機児童の現状は。

答 畦地 教育長

佐賀保育所、大方くじら保育所においては、現在、ゼロ歳児、1歳児は認可定員を超えており、入所は受け付けられない状況にある。そのため、入所申し込みの時点で説明し、大方中央保育所は利用が

参の方が道端に投棄されたゴミを持ち帰っている。このような現状から、入野松原だけでなく、町内全域のゴミのポイ捨て禁止条例は制定できないか。

答 尾崎 住民課長

黒潮町には、黒潮町廃棄物の処理、及び清掃に関する条例がある。ポイ捨てに関する要綱はないが、他市町村と比較しても、大差はなく、弊害はないと考える。

令和元年の計画としては、まず、第一段階として、地籍調査が完了済の佐賀地域の中で、112ヘクタールを考えている。調査だけでも3年程度要し、相当の年月が必要である。長期にわたり専門的組織的な取り組みが必要と考える。意向調査と説明会を精力的に開催し、協力を得られたところから、着実に事業を進めていきたい。

答 門田 産業推進室長

昨年度、黒潮町観光基本構想を作成し、宿泊施設の建設は必要としているが、現状では白紙としている。今後は、あらゆる観光資源等を有効活用し、観光推進体制のもと町内の観光関連事業者と意見交換をし、黒潮町観光で稼ぐ力を引き出す施策で早期に効果が発揮できる取組みを実施したい。

森林環境税

**当町の具体的な
取り組みは
意向調査と
説明会開催**

問 7月の新聞に「県内の森林税配分に格差」との記事があった。当町の具体的な取り組みを問う。

答 今西 海洋森林課長

森林経営管理法は、平成30年5月に成立し、今年4月から運用開始した。

宿泊施設

**施設の建設
絶対必要
現状では
白紙としている**

問 現在、スポーツ・ツーリズムは順調に推移している。今後も推し進めるべきと思うが、これからのスポーツ・ツーリズムを考えたとき、宿泊施設の建設は絶対に必要だと思う。町の考えは。



山の手入れ・間伐材搬出作業

問 入野松原を散歩する方の中には、ゴミ袋を持

ゴミ問題

**ポイ捨て禁止
条例制定を
条例他市町村
大差はない**

可能と伝えている。その結果、大方中央保育所に申し込む方も、申し込まない方もいる。つまり、正式な入所申請書を提出しない方については、待機児童としての法的なカウントはしない。施設の改修については、保育所利用者数は年によって増減が激しく、また、黒潮町全体の施設面では利用可能であり、現在の当町の状況からすると、施設改修は考えていない。